

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

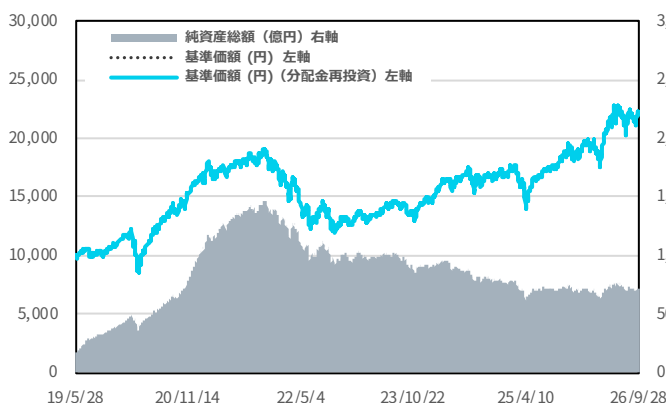


当ファンドの
特設サイトは
こちらから

「ティー・ロウ・プライス」の
Webサイトへ移動します

■Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

運用実績の推移



基準価額	22,113円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	716.0億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、9月の各15日(休業日の場合は翌営業日)		

騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.72	-0.86	25.91	21.47	63.12	121.13

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1 1期 '24/9/17	第1 2期 '25/3/17	第1 3期 '25/9/16	第1 4期 '26/3/16	第1 5期 '26/9/15	累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

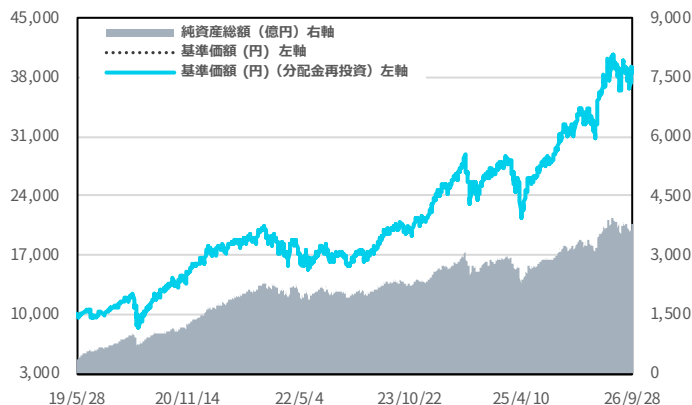
※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

運用実績の推移



基準価額	38,723円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	3,744.4億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、9月の各15日(休業日の場合は翌営業日)		

騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.18	-2.91	25.39	30.90	94.45	287.23

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1 1期 '24/9/17	第1 2期 '25/3/17	第1 3期 '25/9/16	第1 4期 '26/3/16	第1 5期 '26/9/15	累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

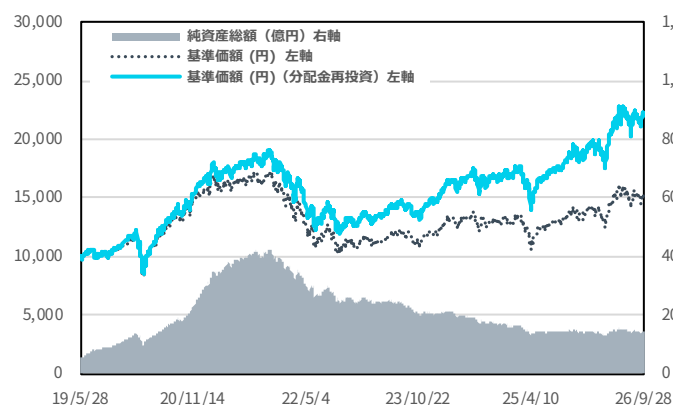
追加型投信／内外／株式



■Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

基準価額	15,206円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	141.0億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、6月、9月、12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（％）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.71	-0.87	25.91	21.61	62.91	121.13

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第25期 '25/9/16	第26期 '25/12/15	第27期 '26/3/16	第28期 '26/6/15	第29期 '26/9/15	累計
分配金	200円	200円	200円	230円	220円	4,990円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

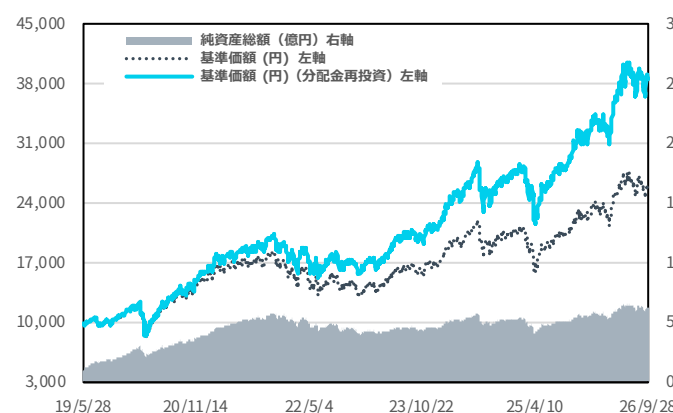
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

基準価額	25,911円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	620.0億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、6月、9月、12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（％）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.15	-2.88	25.42	30.92	94.43	286.86

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第25期 '25/9/16	第26期 '25/12/15	第27期 '26/3/16	第28期 '26/6/15	第29期 '26/9/15	累計
分配金	310円	340円	340円	400円	370円	7,030円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）
Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式



ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンドの状況

■資産配分		■国・地域別配分(上位10カ国)		■セクター配分	
株式等	97.71%	国・地域	構成比	セクター	構成比
現金他	2.29%	米国	59.12%	情報技術	49.25%
合計	100.00%	台湾	7.93%	資本財・サービス	9.77%
		日本	5.48%	ヘルスケア	9.53%
		オランダ	4.17%	金融	8.64%
		英国	3.41%	一般消費財・サービス	7.63%
		イタリア	3.04%	コミュニケーション・サービス	4.54%
		韓国	2.39%	エネルギー	3.58%
		カナダ	2.38%	素材	2.27%
		フランス	2.19%	生活必需品	2.19%
		スペイン	1.74%	公益事業	0.30%
		その他8カ国計	5.87%	不動産	0.00%
		現金他	2.29%	現金他	2.29%
		合計（18カ国）	100.00%	合計	100.00%

■通貨配分（上位5通貨）	
通貨	構成比
米ドル	65.21%
ユーロ	13.22%
台湾ドル	7.94%
日本円	6.12%
英ポンド	3.43%
その他の通貨	4.07%
合計	100.00%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類によります。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があれば、それに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：100銘柄)

	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	エヌビディア	情報技術	米ドル	米国	5.91%
2	台湾セミコンダクター	情報技術	台湾ドル	台湾	3.71%
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	米ドル	米国	2.98%
4	アップル	情報技術	米ドル	米国	2.82%
5	マイクロソフト	情報技術	米ドル	米国	2.61%
6	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)	情報技術	米ドル	米国	2.50%
7	ASMLホールディング	情報技術	ユーロ	オランダ	2.49%
8	ユニリーバ	生活必需品	英ポンド	英国	2.19%
9	アルファベット	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	2.03%
10	リンデ	素材	米ドル	米国	1.78%
				合計	29.04%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類によります。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があれば、それに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

9月のグローバル株式市場（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス）は下落しました。

当月前半は、強い米雇用統計やインフレ率の高止まりを受けて米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ観測が強まり、米長期金利が上昇したことから、米国株は軟調に推移しました。その後も、人工知能（AI）の安全性を巡る議論を背景にAI開発のペースが鈍化する可能性が意識され、半導体や関連機器株が急落したほか、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やインフレへの警戒も重石となりました。当月半ばには、FRBが政策金利の引き上げを決定し、追加利上げの可能性を示唆したことも株価の上値を抑えました。一方、当月の後半にかけては、半導体大手による強いAI需要見通しや、AIの利用拡大を背景に関連投資が継続するとの期待から米国を中心に大型テクノロジー株が上昇し、相場を下支えしました。ただし、堅調な米経済指標を受けた米長期金利の上昇などから、月末にかけては上値の重い展開となりました。地域別では、欧州先進国株は金利上昇や原油高が重石となり下落しました。アジア先進国株は日本株が横ばいだった一方、その他の市場が軟調となり下落しました。新興国株は市場によりパフォーマンスにばらつきがみられ、全体では小幅下落となりました。

セクター別の騰落率（世界産業分類基準に基づく11セクター）では、「情報技術」や「コミュニケーション・サービス」が上昇した一方、「素材」、「一般消費財・サービス」、「不動産」などは下落しました。

*上記はすべてMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）

■運用概況

9月のファンドの騰落率（分配金再投資）は、Aコースは+0.72%、Bコースは-1.18%、Cコースは+0.71%、Dコースは-1.15%でした。為替市場で円高が進んだことが、為替ヘッジなしのBコースおよびDコースのリターンを押し下げました。

組入銘柄では、半導体設計会社のアドバンスト・マイクロ・デバイセズ（AMD）とバイオテクノロジー企業のツイスト・バイオサイエンスがプラスに寄与しました。AMDは、2027年のデータセンター売上高が前年同期比2倍超に拡大する見通しを改めて示したほか、AIエージェントの普及に伴うAI向け計算処理需要拡大への期待から株価が上昇しました。ツイスト・バイオサイエンスは、製薬大手イーライリリーのAI創薬プラットフォームへの参画を発表し、事業機会拡大への期待から株価が上昇しました。

一方、料理宅配大手のドアダッシュと決済サービス大手のアディエンがマイナスに寄与しました。AIエージェントの普及により、ドアダッシュでは注文仲介・広告事業において、またアディエンでは決済事業者の選択にAIが介在することによる競争激化や収益機会の減少が懸念される中、両社の株価が下落しました。ドアダッシュは高いバリュエーションの警戒感も重石となりましたが、当運用では市場の反応はやや過剰とみており、オンライン注文の普及が米国市場で高いシェアを持つ同社の収益改善を加速させると考えています。一方、アディエンは新たな最高財務責任者の人選への失望感も下落要因となりました。当運用では、既存顧客内での取引拡大や買収による事業拡大、総合的な金融サービス基盤への進化による収益成長を見込んでいます。

■今後の見通し

当運用では、AI関連投資を単なるソフトウェアサイクルではなく、半導体、メモリ、ネットワーク、電力設備などのインフラ整備に加え、土地の確保や専門人材への投資を伴う大規模な投資サイクルと捉えています。好調な企業業績や業界動向は、こうした投資が関連企業の売上高成長につながっていることを裏付けており、AIインフラへの旺盛な需要と良好な業績見通しは2027年にかけて続くと考えています。特に、短期間で供給能力を増やすことが難しい分野では、供給制約が価格決定力を支え、収益の改善につながると見えます。

当運用では、AIインフラ関連の投資機会を引き続き重視しつつ、企業ごとの収益改善の段階や相対的な投資魅力度に応じて組入比率を調整していきます。収益成長が加速し、その期待が株価に十分織り込まれていない銘柄を重視する一方、成長が鈍化し始めた銘柄についても、株価評価を見極めながら組み入れを調整する方針です。AI投資の恩恵は、データセンターの接続関連や画像処理半導体（GPU）に加え、中央処理装置（CPU）やメモリ、AIの活用を支えるソフトウェア・データ基盤にも広がっています。さらに、AI創業による需要拡大が期待されるヘルスケアや、米国外の産業用機器・半導体製造装置関連企業にも注目し、投資機会の分散を図っています。一方、AI関連銘柄の多くはAIの普及や需要拡大という共通の成長要因に支えられているため、銘柄間の相関上昇には注意が必要と考え、特定の銘柄や投資テーマへの集中を抑えるなど、リスク管理も重視していきます。また、AI投資がモデルの能力向上や利用拡大、十分な投資収益性につながるかを見極めるとともに、資金需要の増加による実質金利の高止まりや、地政学的緊張に伴うエネルギー価格上昇とインフレ圧力も注視していきます。今後は、2027年以降の供給制約の動向や各企業の収益改善の持続性を見極めながら、リスク管理と規律あるボトムアップ・アプローチで銘柄選別を徹底していく方針です。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）
Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式



ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケット*も含みます。）の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行います。

※ エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ*1」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*2のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコース／Cコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジ（主要国通貨による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコース／Dコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4

決算頻度と為替ヘッジの有無の異なる4つのコースからお選びいただけます。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記1～3のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

※販売会社によっては、いずれかのコースのみ取扱う場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク（ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。）は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、世界の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式（米国預託証券（ADR）、欧州預託証券（EDR）、グローバル預託証券（GDR）等を含みます。）の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。また、当ファンドは中小型株に投資することがありますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式よりも価格の変動が大きくなる場合があります。

為替変動リスク

AコースおよびCコースは、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、主要国通貨を用いた代替ヘッジを行う場合がありますが、通貨間の値動きが異なるため、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。BコースおよびDコースは、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

エマージング・マーケット・リスク

当ファンドは、エマージング・マーケット（新興国市場）の株式も投資対象としています。エマージング・マーケットは先進国と比較して市場が成熟していないため、流動性が低く、価格の変動性も大きいことから、価格変動リスクが高くなる傾向にあります。また新興国は先進国と比較すると政情が不安定な国や地域が多く、投資対象国・地域における政治体制の変更、法令の変更、経済情勢の変化等の影響が市場におよぶリスクが高くなります。これらのリスクにより、基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じることがあります。ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。

当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。これらの見解はティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク及びその関係会社の見解とは異なる場合があります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグローヒル・カンパニー傘下のスタンダード・&・プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

委託会社、その他関係法人

【販売会社一覧】お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

商号等			加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	

※野村證券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

※三井住友信託銀行株式会社は、Bコースのみのお取扱いです。

受託会社：野村信託銀行株式会社

委託会社：



T.RowePrice

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会